東京ジャーミイ金曜日のホタバ

2007年12月8日

信者の特質-1-

親愛なるムスリムの皆様。本日のホトバでは、クルアーンの章句を紹介しつつ、信者の特質についてお話したいと思います。

信者はアッラーにのみ仕えます。「わたしたちはあなたにのみ崇め仕え、あなたにのみ御助けを請い願う。」（開端章第５節）「アッラーに仕えなさい。何ものをもかれに併置してはならない。」（婦人章第３６節）「あなたの主は命じられる。かれの外何者をも崇拝してはならない。」（夜の旅章第２３節）「信仰するわれのしもべよ、本当にわが大地は、広いのである。だからわれだけに仕えなさい。」（蜘蛛章第５６節）

信者はアッラーを畏れます。「あなたがた信仰する者よ、十分な畏敬の念でアッラーを畏れなさい。」（イムラーン家章第１０２節）「信仰する者よ、もしあなたがたがアッラーを畏れるならば、かれはあなたがたに識別を与え、あなたがたの諸悪を消滅し赦して下される。本当にアッラーは偉大な恩恵の主であられる。」（戦利品章第２９節）「だから心を尽してアッラーを畏れ、聞きそして従い、また（施しのために）使え、あなたがた自身のために善いであろう。また自分の貪欲に用心する者、かれらは繁栄を成就する者である。」（騙し合い章第１６節）「アッラーの御告げを伝える者たちは、かれを畏れ、アッラー以外の何ものをも畏れない。」（部族連合章第３９節）「だからあなたがたが真の信者ならば、かれらを畏れずわれを畏れなさい。」（イムラーン家章第１７５節）

信者はアッラーを何よりも愛します。「だが人びとの中にはアッラーの外に同位の者を設けて、アッラーを愛するようにそれらを愛する者もある。だが信仰する者たちは、アッラーを激しく熱愛する。」（雌牛章第１６５節）「信仰する者よ、もしあなたがたの中から教えに背き去る者があれば、やがてアッラーは、民を愛でられ、かれらも主を敬愛するような外の民を連れてこられるであろう。かれらは信者に対しては謙虚であるが、不信心者に対しては意志堅固で力強く、アッラーの道のために奮闘努力し、非難者の悪口を決して恐れない。」（食卓章第５４節）

信者はアッラーの定めた法に従います。「あなたがた信仰するものよ、アッラーがあなたがたに許される、良いものを禁じてはならない。また法を越えてはならない。アッラーは、法を越える者を御愛でになられない。」（食卓章第８７節）「あなたがたは、アッラーの御名が唱えられたものを、どうして食べないのか。かれは、あなたがたに禁じられるものを、明示されたではないか。だが、止むを得ない場合は別である。本当に多くの者は、知識もなく気まぐれから（人びとを）迷わす。あなたの主は、反逆者を最もよく知っておられる。」（家畜章第１１９節）「だがアッラーとその使徒に従わず、かれの定めに背く者は、業火に入り、永遠にその中に住む。かれは恥ずべき懲罰を受けるであろう。」（婦人章第１４節）

信者は、アッラーのみを信頼します。「アッラーは幾多の戦役、またフナインの（合戦の）日においても、確かにあなたがたを助けられた。その時あなたがたは多勢を頼みにしたが、それは何も役立たず、大地はあのように広いのにあなたがたのためには狭くなって、あなたがたは遂に背を向けて退却した。その後アッラーは、使徒と信者たちの上にかれの安らぎを下し、またあなたがたには見えなかったが、軍勢を遣わして不信心な者たちを懲罰された。このようにかれは、不信者に報いられる。」（悔悟章第２５－２６節）「だがアッラーに会うことを自覚する者たちは言った。『アッラーの御許しのもとに、幾度か少い兵力で大軍にうち勝ったではないか。アッラーは耐え忍ぶ者と共にいられる。』」「人びとが、かれらに向かって言った。『見なさい、あなたがたに対して大軍が集結している。かれらを恐れるべきである。』だがこのことが却ってかれらの信仰を深めた。そして『わたしたちには、アッラーがいれば万全である。かれは最も優れた管理者であられる。』と言った。」（イムラーンん家章第１７３節）